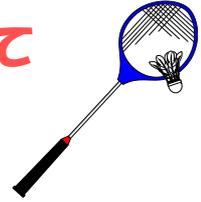


障がい者スポーツを知ろう～パラリンピック教育～

出前講座（9月3日（木））を受けて



- 障がいに対して複雑なイメージがありましたが、鳥居先生が、「背が高い低いと同じだよ」と言われ、考えが変わりました。障がいがあってもなくても、スポーツをすること、体を動かすことが好きという点では同じなので、障がい者スポーツに関わってみたいと思いました。
- 伊藤さんは、障がい者として大変なことも多いはずなのに、ぜんぜんつらそうな顔をせず、とても楽しそうで素敵でした。障がいがあるからと特別に考えるのではなく、自分たちと同じように接したり対応したりすることが大切だと思いました。もっと障がい者スポーツのことを知りたくなりました。
- 初めて義足を見て、とても滑らかに動くのでとても驚き、感動しました。伊藤さんの義足を付けている方の足に触らせてもらったり、バドミントンのラリーを見せていただいたりして、障がい者スポーツと障がいのことを身近に感じることができ、とてもよかったです。伊藤さんの笑顔がとても素敵で、これからも応援したいと思いました。
- はじめは障がい者のスポーツなので、健常者の人とやると遜色があるのではと思っていましたが、実際やってみると普通にバドミントンをされていてとても驚きました。伊藤さんは、障がいがあってもとても明るく前向きで、私も力をもらいました。これからは、パラリンピックを見てみたいし、サポートすることができたらいいなと思いました。
- 小中学校の時から障がいのある方との交流は何度か経験がありましたが、スポーツをしている方と実際に会うのは初めてでした。パラリンピックや伊藤さんの普段のこと、バドミントンを始めたきっかけなど、いろいろなことが聞け、障がい者スポーツが少し身近に感じられるようになりました。スマッシュの速さがずさまじくて挑戦できなかったけれど、ミニゲームを試してみたかったです。
- 私は伊藤則子さんとバドミントンのラリーやミニマッチをさせてもらいました。ラリーの時、義足ではない足で体を支えながら前後に動き、とても義足でプレーしているとは思えないほどの迫力で、圧倒されてしまいました。ミニマッチのとき、伊藤さんに前後にふられ、完全に伊藤さんのペースに巻き込まれてしまいました。でも、貴重な体験ができてとても思い出に残りました。今回、パラリンピックや障がい者スポーツについていろいろ知ることができたので、これからは積極的に見てみたいと思いました。伊藤さん、パラリンピックに出られるよう、練習頑張ってください。私も頑張ります。今日はありがとうございました。